

子ども特派員 わが街を行く！



この紙面は、自分たちの住んでいる街や校内活動を、自分たちで取材・編集する「子ども特派員」とともに編集しています。

今回の「子ども特派員」は、福岡小学校6年生の飯泉直人^{いづみなおと}さん、秋場悠太^{あきばゆうた}さん（後列左から）、竹澤乃愛^{たけざわのあ}さん、長瀬かな^{ながせ}さん、松田朱菜^{まつだあやな}さん、大久保留里^{おおくぼるり}さん、大藤りおん^{おおとう}さん（前列左から）が、「福岡秋まつり」の様子をご紹介します。

地域とひとつに♪

～伝統の福岡秋まつり～

今回、私たち子ども特派員は、11月8日に福岡小学校で行われた秋まつりを紹介します。

秋まつりには、小さい子どもからお年寄りまで、たくさんの方が参加しました。おもしろ実験工作、模擬店、ステージ発表がありました。

おもしろ実験工作では、講師の「おもしろ理科先生」の坂^{さか}先生に、わかりやすく教えていただき、縦割り班で、ストローロケットを作りました。上級生と下級生が別々に作る工作も、班のみんで協力し合いながら作り、楽しく遊ぶことができたので、理科への関心が深まりました。

私たちは、秋まつりに来ていた地域の方にインタビューをしました。「秋まつりで楽しみにしていることはなんですか？」と質問すると「ずっと前から楽しみにしていて、子どもたちの発表や、福岡盆踊り、模擬店など、全部楽しみ」と答えてくださいました。また「カレーやとん汁は、家庭の味よりおいしい」と話していただき、地域の方々やたくさんの方が秋まつりを楽しんでいました。



ステージ発表では、たくさんの方の前で、学年ごとに発表しました。緊張しましたが、みんなそれぞれしっかりできました。ビリーブを歌った時には、全員の心がひとつになりました。

その後に、校庭で盆踊りを踊りました。福岡盆踊り保存会の皆さんが福岡太鼓を演奏しました。地域の方々や全校児童が輪になって踊り、とても楽しかったです。



福岡秋まつりは、毎年たくさんの方に支えられて行われています。とん汁をつくってくださったNPO法人城山を考える会と青少年育成会の皆さん、カレーやすくいどりなどを用意してくださったPTAの皆さん、また、とん汁やカレーに入れる野菜を持ってきてくださった地域の方々など、たくさんの方の協力で、今年も楽しく行うことができました。

